



新病院長の紹介

阿蘇医療センター



病院事業管理者
院長
甲斐 豊

阿蘇中央病院は、多くの地方自治体病院が抱えている慢性的な医師不足による診療科の削減、入院患者の減少という嵐が同院にも押し寄せ、経営的にも厳しい状況が継続してまいりました。また、阿蘇郡市内の救急受け入れ態勢が十分でなく、救急患者の多くが熊本市内の病院に搬送されてまいりました。平成二十二年のデータで、阿蘇郡市内の脳血管障害や急性心筋梗塞患者の管外流出は六〇%という状況でした。

そこで、阿蘇地域の脳卒中や急性心筋梗塞の救急医療体制の強化や、地域医療体制の充実を図る目的で、平成二十三年四月、熊本県の予算措置により熊本大学医学部附属病院に脳卒中・急性冠症候群医療連携寄附講座が設置されました。私を含めた四名の医師（脳神経外科、神経内科、循環器科、リハビリ科）が、専門医の立場から新たな医療資源の投入を開始しました。私は平成二十六年一月に院長として赴任し、平成二十六年四月から病院事業管理者（地方公営企業法の全部適用）も併任し、人事・給与・予算編成などの権限が阿蘇市長から移譲されました。平成二十六年八月六日、阿蘇医療センターは阿蘇駅前（旧阿蘇中学校跡地）に新築移転し、リニューアルオープンいたしました。

梗塞患者に対するt-PA治療が行える体制を構築しました。熊本大学医学部附属病院と阿蘇医療センターの間を、IT機器を用いて遠隔画像診断システムで繋ぎ、これに基づくt-PA治療を実施する環境を整備しました。t-PA治療を行いながら患者を専門病院へ搬送する「drip & ship」方式という最先端の医療の仕組みを立ち上げました。本モデルは、CALDERA (Cooperative Attempt of Telestroke based Drip & ship type Emergent Referral Aso model: 阿蘇モデル)として、国内外の論文に掲載され、広く認識されるようになりました。この治療体制を平成二十四年六月から導入し、四年間で七〇例のt-PAモード患者が阿蘇医療センターに搬送され、このうち一四例がt-PA治療を受けることができ、神経症状の改善が得られています。この先進的治療モデルがさらに発展し、平成二十六年七月から、熊本県内の複数の医療機関（九医療機関）が連携して、多施設間における遠隔診断に基づく脳卒中医療がスタートしています。

一方、循環器内科は、二名の専門医師が常勤医として勤務し、手術室にカテーテル室を併合したハイブリッド型のバイブレーション血管撮影装置が導入されました。急性期冠症候群の患者さんに対して、阿蘇地区で心臓カテーテル治療が可能になりました。急性心筋梗塞患者さんに対し、一年間で五〇例を超えるステント留置術が施行され実績をあげています。また、平成二十七年四月から、常勤医が四名増員、平成二十八年八月からさらに一名増員され一〇名体制になりました（内科四名、循環器内科二名、脳神経外科、神経内科、小児科、消化器外科、各一名）。今後は

医師不足による様々な問題が緩和され、今まで以上に充実した医療体制を構築できると期待しています。地方公営企業法の全部適用化後は、新しい医療機器の導入や必要な人員の配置が柔軟にしかも迅速に行えるようになりました。各医療スタッフも大幅に増員し、新体制の充実を図っています。平成二十七年四月からは、脳血管疾患等リハビリテーションI、心大血管疾患リハビリテーションIIを取得しました。また、同月から、熊本大学医学部附属病院病理部と遠隔診断連携事業を展開し、病理組織の画像診断を、IT機器を用いて迅速に行える体制を整えています。さらに、阿蘇医療圏内の複数の医療機関をインターネット回線で結び、治療内容などの情報を共有化するシステム（ID Link）をスタートさせています。

医療人教育の機能も充実させています。平成二十七年年度から初期研修医の受け入れを開始し、三名の研修医が来院しました。また、早期臨床実習体験として医学部学生（五年生三週間、三年生三日間）の受け入れを開始しています。救急救命士、看護師、看護学生をはじめとした各養成機関の実習生、地元高校生・中学生の職場体験の受け入れも実施しています。さらに、院内で一次救命処置のインストラクター（BLS、ACLS）が取得できるコースが開催されます。既に三〇名を超えるスタッフが資格を取得しています。

また、患者サービスの 일환として、院内に絵画や書などを展示するギャラリーを設置し、院内受付ロビーにてクラシック音楽の演奏会を開催して患者さんやご家族に楽しんでいただきましました。また、平成二十八年一

月からは「出前講座」として、院内の職員がそれぞれの職域に関わる専門的な医療情報を活用し、講話や健康教室などを通して阿蘇市民の方々のところに向いて行ってお話をさせていた、だいています。

阿蘇医療センターの目標を「信頼と責任」として掲げ、阿蘇の住民の方々、阿蘇郡市医師会・歯科医師会・薬剤師会の会員、地域医療機関・消防機関、社会福祉関連施設などから「信頼」される医療機関として、また地域中核医療機関として「責任」ある医療を提供できる医療機関として機能させることを目指します。阿蘇医療圏内に、救急患者を二十四時間受け入れ治療ができる体制を構築し、地域完結型医療を推進してまいります。また、専門医療を提供することで、圏域の病病連携・病診連携の強化を図り、もって熊本県地域医療再生計画の趣旨および事業目的にもかなった病院形成の実現を目指してまいります。

どうか会員の皆様には、今後とも厳しいご意見やご助言をいただき、新生「阿蘇医療センター」の発展にご支援を賜りますようお願い致します。



2014- 8- 6 にオープンした阿蘇医療センター